

プレゼント

アンケートにご協力ください（応募締切：7月31日必着）
「きずな・KOBE」第13号はいかがでしたか？
ご覧になった感想をお寄せください。お寄せいただいた方の中から抽選で、下記のプレゼントをお贈りいたします。

A 「友が丘作業所」より焼菓子のギフト袋

第11号で紹介した「友が丘作業所」より、焼菓子のギフト袋をプレゼント。
同作業所が20年以上に渡りつくり続けてきた自慢のパウンドケーキを、新ブランド「CLOVER」のロゴをあしらったおしゃれな包装でお届けします。



5名様

B 兵庫県立美術館 特別展 生誕130年記念 藤田嗣治展

—東と西を結ぶ絵画—
入場チケット

エコール・ド・パリの人気画家として活躍し、続く戦争の時代を、日本において戦争画も描く画壇の第一人者として過ごした藤田嗣治の回顧展。彼の遺した作品を、初期から晩年まで時代を追ってご覧いただけます。

会期：2016年7月16日(土) ~9月22日(木・祝) **5組10名様**

（自画像）1929年 東京国立近代美術館蔵
©Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2016 E2169



読者のお声 VOICE

~第12号に寄せて~

- 「ともにしあわせになるしあわせ」。作業所で働く方々が作る優れた製品を世の中に送る素晴らしい仕組みだと思いました。このような企業がもっともっと増えていくことを期待します。（32歳/女性）
- 先日はじめて水道筋商店街を歩く機会があり、その活気に圧倒される思いでしたが、こんなあたたかい手話カフェもあったんですね。人の為に人が集い、素晴らしいなと思いました。（47歳/女性）
- 私は手話サークルで活動していますが、手話カフェ・手話BARを知りませんでした。是非行って聴覚障害者の人々と交流したいと思います。（75歳/女性）

【応募方法】ハガキまたはEメールでお名前、ご住所（〒）、電話番号、年齢、性別と希望のプレゼント名、本誌へのご感想を明記して、下記までご応募ください。当選者の発表は商品の発送に代えさせていただきます。

ハガキ 〒651-0086 神戸市中央区磯上通 3-1-32 神戸市社会福祉協議会 「きずな・こうべ」プレゼント係へ
Eメール kouhou@with-kobe.or.jp

※次号は2016年11月の発行予定です

きずな・KOBE

第13号
TAKE FREE
July 2016



この広報誌は赤い羽根共同募金配分金を受けて発行しています。

特集.1 つながりが地域を変える！
防災活動でともに助けあえるまちを目指して

特集.2 毎日楽ありゃ苦もあるさ！
～とあるご夫婦の認知症奮闘記～



会いたかった Yes! この人
岡本 愛美さん (防災女子リーダー)

美味しい! かわいい! 福祉のお店
鳥貴族 JR 兵庫店

催し・イベント情報ほか
読者アンケート&プレゼント

表紙写真 / 神戸学院大学防災女子の皆さま

トヨタハートフルプラザは、トヨタの福祉車両「ウェルキャブシリーズ」の総合展示場です。

来て、見て、さわって体感しよう!!

7月30日(土)・31日(日)
10:00~17:00

無料
落語・似顔絵・
バルーンアートなど
イベント盛りだくさん!



最新装備のウェルキャブ10台を展示

TOYOTA

〒650-0023
兵庫県神戸市中央区栄町通7-1-3-2F
神戸中央郵便局西向い

トヨタウェルキャブ 総合展示場 トヨタハートフルプラザ神戸 TEL.078-366-1616 FAX.078-360-0399
営業時間/午前10:00~午後6:00 定休日/毎週月曜日および第2週火曜日(祝日の場合は翌日) ハートフルプラザ神戸 検索 <http://toyota.jp/heartful/>

きずな・KOBE 第13号 (2016年7月発行)

発行 社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会
〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32 こうべ市民福祉交流センター
<http://www.with-kobe.or.jp/> TEL 078-271-5306 FAX078-271-5365
製作 株式会社高速オフセット

「きずな・KOBE」では、企業等の広告を掲載しています。
広告掲載のお問い合わせは、078-271-5306 神戸市社会福祉協議会 広報交流部へ。

この広報誌は、ふれあいのまちKOBE愛の輸運動の補助を受けて発行しています。

神戸市社協広報印刷物登録
平成28年度第10-1号 広報印刷物規格A-3類



SUMA
 浜キャンプ
 BEACH CAMPING
 2016

つながりが地域を変える！防災活動

阪神・淡路大震災から21年経った今、地域のつながりの大切さについて感じ、考えてほしいと防災をテーマにしたイベントが開催され、須磨海岸が多くの人で賑わいました。

でともに助けあえるまちを目指して

しい…。地元で活躍する団体・事業者のそんな思いから、人のつなが

防災エコクッキング
 神戸大学の栄養学教授が教える体にもよいエコ料理。ひとつのお鍋でごはんからおかずまで、いろんな料理をつくる体験をしました。



救急法レクチャー
 ライフセーバーによる救急法の講習を親子で受けて、AEDの使い方を体験しました。

巨大マッピング
 大地震や大雨などの災害時に、須磨海岸エリアのどこが安全で危険かを巨大ハザードマップでみるができます。来場者は自分の家の場所にシールを貼って避難所をチェックしました。



体幹や集中力を鍛えられるいま大注目のスラックライン！



ステージの前に広がる海を眺めながら音楽を楽しもう！

ももたろうエピソードIV
 紙芝居でゲリラ豪雨のメカニズムや注意点を学びました。子どもたちはふだんのくらしと環境との付き合い方について考え、たくさんの発見がありました。



各ポイントで救助を待つ人を探し出しノルマを達成してゴールしよう！！

いんたびゅー



こうち まさとし
 幸内 政年さん(40歳)

プロフィール
 SUMA海の家カッパ天国を経営。地元の有志や企業とともに神戸を盛り上げるイベントを多数開催している。

共助をテーマとしたイベントで楽しみながら地域のコミュニティ形成をめざす

5月21日(土)・22日(日)に須磨海岸で防災と交流をテーマにした「浜キャンプSUMA」が開催され、家族連れなどの参加者が多彩な防災プログラムに取り組みました。

イベントの呼びかけ人である幸内政年さんは、須磨海岸周辺の資源を活かして地域を活性化しようと2012年に須磨水族園など6団体とともに須磨オーシャンサービス(S.O.S)を結成したメンバー。過去にS.O.Sが企画した観光イベント「ギョギョギョカーニバル」にも

多くの参加者が訪れ、会場は大いに賑わいました。

しかし、こうしたイベントが成功する一方で、幸内さんには阪神・淡路大震災への思いがありました。「当時は大学生で神戸におらず何もできなかった。いつか地元の力になりたいという思いがずっとあって……。そんなとき、漁船が災害時に輸送手段となることや食品生産者を巻き込んだ炊き出しといった地場産業の力を活かした町ぐるみの防災に思い至り、イベントを企画しました。」「自助」の啓発を主体とする従来の防災イベントに対し、幸内さんは地域の人が共に助け合う「共助」に着目。「阪神・淡路大震災ではガレキの下から救助された3割の人が周囲の助け合いによるものだったと聞いています。昔は盆踊り大会やもちつき大会などで地域がつながっていました。これと同様に自分たちの考える防災とはコミュニティの形成

だったのです。ただ、いかにも防災という企画は敬遠されがち。あえてそこは前面に出さず、楽しそうと感じてもらえることを意識しました」と幸内さん。本イベントも異業種の仲間が協力してくれたおかげで開催できたと話します。

「人を動かすのはムーブメント。チャレンジをしてほしい。誰だって最初の一步は不安だし、勇気がいります。私は誰かのチャレンジをできる限りサポートしたいですし、この地域が一丸となって課題に向き合える。そんなまちづくりをめざしたい」と話します。

須磨海岸では、今後もつながりをテーマとしたイベントが行われます。地元を思うムーブメントが、須磨のまちを変えていきます。



「もし自分や近い人がそうになったら…」と、暗い気分になりがちな認知症。

ではその当事者の暮らしはどのようなものなのでしょう。今号ではその一例として、懸命に病氣と向き合い、高齢ながらも今なお自宅で暮らし続けるご夫婦にお話を伺いました。



認知症を患うご主人の要介護度は現在5。通所デイや訪問看護など制度を利用しつつ、息子さんと地域の支えのもと今なお自宅での暮らしを続けている。

奥さんにうかがいました

主人の異変は2000年頃から表れ始めていましたが、当時は母親の看病のため十分に病氣と向き合えていませんでした。正式な診断は、2007年になってからです。

診断前から少しでも良くなればと旅行や習い事をしてはいたものの、今思えばふたりで課題を抱え込み、主人の病気をひた隠しにする自分と、元気を取り繕う主人の姿がありました。しかし、ふたりだけで乗り越えるにはあまりにも壁は大きく、私は脳溢血で倒れてしまいました。

入院当初は残された主人が心配でなりませんでした。その間に、たくさんの人が私たちの力になってくれました。ふたりだけの環境から離れたことで、身近



に支えてくれる人たちの心強さに気づくことができました。それを機にこの病氣にありのままにしようと思い、本当の意味で認知症と向き合う転機だったと感じています。

それからは周囲の応援のもと、主人と様々なことにチャレンジしてきました。発症前はピアノや地



域での交流なんて関心がなかった主人がそれらを懸命に楽しんでいる。この病氣にならなければ主人のそんな一面を見ることはなかったのかも、なんて考えてしまいます。

発症から15年以上たった今でも、感情的に声を荒げたり、気が滅入ることはしょっちゅうですよ。

ただ、時折見せてくれる笑顔や「ありがとう」のひとことが嬉しくて、最近では「今日も男前ね!」とか「大好きよ〜♥」なんて、おおげさに接しているんです。発症前とは少し形は違いますが、夫婦の絆の深まりを感じています。

将来の不安はないと言えば嘘になりますが、今では一日を精一杯楽しむことを一番に考えています。この病氣との長い付き合いを通して、最近ようやくそう思えるようになりました。



この度、まちのみなさんのお力添えのもと認知症の本人と家族が気軽に立ち寄れるつどい場が生まれました! 認知症の介護にはそれぞれの環境や事情があり悩みも様々なもの。みんなで悩みを受けとめ合って、一緒にホッと一息つける場にしていきたいですね。

カフェ UMEのつぶやき

神戸市東灘区魚崎北町4丁目3-15
毎週月曜日 13:00~15:00
☎078-855-6959



いざという時、知らないことは恐ろしい 女性目線を生かし多くのの人に伝えたい

2013年、神戸学院大学の高岸明以さんが、神戸市危機管理室の「くらしの備えアイデアコンテスト」で最優秀賞を受賞。翌年に立ち上げたサークルが防災女子です。女性ならではのアイデアをこめた啓発活動や目標について、今年の4月からリーダーとなった岡本愛美さんにお話を伺いました。



防災女子
リーダー 岡本 愛美さん
神戸学院大学で高岸さんのアイデアに共感し防災女子立ち上げ当初から加入。現在19名のメンバーの2代目リーダーとして神戸市を中心に防災啓発活動に取り組んでいる。

鮮やかなピンクのポロシャツが特徴の防災女子。ふだんはどのような活動をしていますか。

防災を女性目線で考え、私たちが生きていくために必要な「食」をテーマとした活動が中心です。イベントでは、災害に備えた常備食品を期限切れになる前に食べて、消費した分を補充する「ローリングストック法」を紹介したり、常備食品を使ったレシピで調理した自信作を食べてもらったり。実践的、かつ皆さんになじみやすく興味をもってもらいたい内容を心がけています。

レシピは簡単でおいしいだけでなく、体調管理にも役立つものをと、栄養学部助教伊藤智先生にアドバイスをお願いしています。活動前にはみんながアイデアを持ち寄り、ひとり暮らしのメンバーの家などで試行錯誤しています。

岡本さんの表情をみるだけでふだんの雰囲気が伝わってきて、従来の防災の印象とは違いますね。

防災の堅いイメージをどう受け入れやすいものにかえられるかが防災女子のテーマの一つ。私たちの活動で多くの人が私をもやもやと共感してもらえたらと思っています。

活動を通して岡本さんご自身の防災意識は

かわりましたか。

私は21年前の阪神・淡路大震災の年に姫路市で生まれました。高校までは、避難訓練しか経験がなくて、震災をくわしく学んだのは、大学の防災・社会貢献ユニットがきっかけです。授業などを通して、防災が身近に根づいている神戸のまちに驚きました。いざという時に、知識がないと何もできない。知らないことは恐ろしい。多くの人に伝えるには自分の身近なところからと、部屋の家具の配置をかせ、料理で洗いを減らすためにポリ袋を使うなど、防災を意識した生活をしていきます。

最後に今後の息込みとメッセージをお願いします。

先の熊本地震では、避難所での女性への配慮が十分ではなかったという話を現地のボランティアに行った学生から聞きました。これらを教訓にして、近い将来おこりうる災害に改善してもらえようにもっと女性目線の防災を発信していきたいと思っています。防災といえれば防災女子といわれるくらい活躍したいですし、卒業後もOBとして関わりたいです。

私たちの活動が防災に興味を持ってイベントに参加したり、日ごろから備えたりするきっかけにできればいいです。まちでピンクのポロシャツを見かけたら、気軽に声をかけてくださいな。

簡単食/10/分

さばの味噌煮と昆布の炊き込みごはん

耐熱性のあるポリ袋を使った簡単レシピ。こんぶはキッチンばさみで切れるので、包丁・まな板いらす。塩こんぶのうま味が炊き込みごはんを引き立てます。



材料 (2人分)

- さばの味噌煮 1/2缶
- 塩こんぶ(角切り) 5枚
- 無洗米 180g

作り方

- 塩こんぶは1枚を5等分くらいに切る。
- ポリ袋^①に①とさば味噌煮(缶汁も少々)、無洗米、水215cc(通常の白米の場合は180cc)を入れて混ぜあわせたのち、できるだけ空気を抜いて袋の口を輪ゴムで閉じる。
- 鍋に湯を沸かして②を入れ、沸騰状態のまま20~25分加熱する。
- 鍋から袋を取り出し、10分ほど蒸らせばできあがり。

(注)ハイゼックスや強化ポリエチレン製等の専用のポリ袋をご使用ください

※防災女子考案

サービス付き高齢者向け住宅
CC-OP は~とらんど ハイム本山
地域とともにいきいきと、心豊かに過ごせるすまい
2016年11月 新設オープン
サービス付き高齢者向け住宅が開設します!
JR摂津本山駅より徒歩8分の神戸市東灘区田中町に開設。1階には機能訓練特化型デイサービス、認知症対応型デイサービス、内科クリニック、保育所、地域の方にもご利用いただける地域交流スペースを併設予定で、地域に根ざしたサービスを展開してまいります。
詳しくは「コープは~とらんどハイム本山」のホームページをご覧ください。
http://www.kobe.coop.or.jp/fukushi/nursing/heim_motoyama/index.html
◆お問い合わせ
生活協同組合コープこうべ 福祉介護事業部
TEL 078-412-0351
受付時間 月~金 9:00~18:00/土 9:00~17:00

美味しい! かわいい! 福祉のお店



紺谷さん

多くは職場での人間関係や日常生活に原因があること



榎原さん

就労でつまづく方なども各店舗で活躍しています」

「お客様へのサービスの提供だけでなく、社会で働く人を想うことも企業の社会的責任であると考えており、私たちはその一環として、障がいの方たちの雇用に力を入れていきます。今では知的障がいの方が全体の約半数を占め、他に発達障がいの方や統合失調症、高次脳機能障がいの方なども各店舗で活躍しています」

働く意欲はあるけれど、心身の障がいにより安定した職に就きづらい... そうした障がい者の悩みと向き合うのは、大手焼き鳥チェーンの「鳥貴族」。同社は、数年前から障がい者雇用や就労の課題に積極的に取り組み、関西を中心とした店舗で40名近くがスタッフとして活躍しています。今回は、同社の市内店舗、JR兵庫店を訪ねてみました。最初にお話を伺ったのは、同社人財部のリーダーとして障がい者雇用を推進する榎原さんと紺谷さん。 「お客様へのサービスの提供だけでなく、社会で働く人を想うことも企業の社会的責任であると考えており、私たちはその一環として、障がいの方たちの雇用に力を入れていきます。今では知的障がいの方が全体の約半数を占め、他に発達障がいの方や統合失調症、高次脳機能障がいの方なども各店舗で活躍しています」



大西さん

「小さいトラブルを放置せず、本人を中心に店舗スタッフや支援機関も交えたチームでサポートします。自身で立てた目標の達成を目指して、本人も納得できるやり方で、私たちが二人三脚で応援します」と力を込めて語りました。

実際に、同店で仕込みを担当する大西さん(24歳)知的障がい)にもお話を伺いました。「先輩が丁寧に仕事を教えてくれ、次第に業務も手早く出来るようになってきました。仕事ぶりを店長にほめられると嬉しいですね」と頼もしく語り、「趣味はランニング、最近フルマラソンにも出場しました。しっかりと稼いでひとり暮らしをすることが今の目標です。そして、いつかは結婚したいですね」とときりの笑顔を見せてくれました。



●住所 神戸市兵庫区羽板通4-1-1-B1 ☎078-578-0887 ●営業時間 PM6:00~AM2:00(L.O AM1:30)
●定休日 12月31日、1月1日のみ ●ホームページ <https://www.torikizoku.co.jp/shops/detail/249>

7月~10月の催し・イベントご案内

区社協からのお知らせ

催し こべっこランド イベント案内

●こべっこランド中学生プログラム

7月31日(日)~8月18日(木) 10:00~*

【場所】神戸市総合児童センター(こべっこランド)

【対象】中学生 【定員】5~50名*

【事前受付/抽選制】7月17日締切* 【参加費】500円

*プログラムにより異なります。詳しくはお問合せください。

●こべっこ de ハロウィン

10月22日(土)、10月23日(日) 10:00~17:00

【場所】神戸市総合児童センター(こべっこランド)

【対象】18歳未満の方(未就学児は保護者同伴) 【定員】1,800名/1日

【当日受付/先着順】 【参加費】無料(一部有料)

①②神戸市総合児童センター(こべっこランド)

☎078-382-1300 ☎078-351-0684

E-mail:mail@kobekko.or.jp

<http://www.kobekko.or.jp>

講座 市民福祉大学 講座案内

●「見て! 触って! 体験しよう 福祉用具の選び方」

8月19日(金) 10:30~15:00

【場所】こうべ市民福祉交流センター

【対象】市内在住で興味のある方ならどなたでも 【定員】30名

【事前受付/抽選制】8月4日締切 【受講料】1,000円

●市民福祉セミナー

「合理的配慮」できてますか? -障害者差別解消法を知ろう!-

8月27日(土) 13:30~15:30

【場所】こうべ市民福祉交流センター

【対象】市内在住で興味のある方ならどなたでも 【定員】60名

【事前受付/抽選制】8月10日締切 【受講料】1,000円

①②神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学

☎078-271-5300 ☎078-271-5365

E-mail:daigaku@with-kobe.or.jp

ご寄附をありがとうございます。

~みなさまの善意を神戸市の福祉活動に役立てます~
*寄付をしていただいた個人・法人は、所得税・法人税の優遇処置が受けられます

【善意銀行】平成28年2月~5月末
善意銀行では、金銭・物品のご寄附を「金銭口座」と「物品口座」にお預かりしています。(敬称略。ご承諾をいただいた方のみ掲載しています)

預託の部
金銭口座:岡本尚彦、日本入れ歯リサイクル協会、匿名7件
物品口座:損害保険ジャパン日本興亜株式会社、大阪ガス労働組合 兵庫ブロック、ナブテス株式会社

払出の部
金銭口座:NPO法人 兵庫県腎友会、NPO法人 輝かすみが丘
物品口座:神戸市知的障害者施設家族会連合会、神戸市児童養護施設連盟、よりぬいっぴく、地域支援事業所 ぱれっと

日本郵政グループ労働組合ユースネットワーク様よりご寄附を頂きました

日本郵政グループ労働組合ユースネットワーク様は、社会貢献活動として書き損じ葉書の集約活動に取り組んでおられます。この度、活動で得た3,997,635円を当会にご寄附頂きました。6月1日に行われた日本郵政グループ労働組合第9回定期全国大会にて、同組合山本幹事から目録を贈呈頂きました(写真 左:同組合山本幹事、右:本会中村理事長)。頂いたご浄財は、障がい者スポーツ振興センター事業のための車輛購入等に活用させて頂きます。



平成28年熊本地震災害救援募金へのご協力ありがとうございました

平成28年熊本地震発生を受け、神戸市社会福祉協議会では4月18日~6月30日の期間中、市内各所で被災者救援のための募金を実施しました。多くの市民のみなさまからたくさんのご厚意をお寄せいただき、誠にありがとうございました。お寄せいただいた募金は、被災者救援のために活用させていただきます。

PALMARY INN シニアだからこそ、上質の生活クオリティを

<p>PALMARY INN 新神戸 神戸市中央区加納町2丁目13-7</p> <p>北野町・異人館街に佇む シティホテル型ホーム</p> <p>フリーダイヤル ☎0120-861-872</p>	<p>PALMARY INN 須磨 神戸市須磨区千守町1丁目5-23</p> <p>お屋敷街・須磨寺に隣り合う ハイグレードホーム</p> <p>フリーダイヤル ☎0120-587-788</p>	<p>PALMARY INN 明石 兵庫県明石市大久保町八木486</p> <p>目の前に穏やかな海が広がる リゾート感覚ホーム</p> <p>フリーダイヤル ☎0120-725-500</p>	<p>PALMARY INN 緑地公園 大阪府吹田市春日1丁目1-18</p> <p>大阪都心へ一直線 豊かで安心のハイゼンズホーム</p> <p>フリーダイヤル ☎0120-770-868</p>
--	--	---	---

介護付有料老人ホームのバーマリー・イン お問合せ・お申込みは各施設のフリーダイヤルで(受付時間/9:00~17:00) ご見学は随時受付中 <http://palmaryinn.com/>

第26回 しあわせの村感謝day

しあわせの村まつり

7月30日(土) 雨天決行
16:00~20:00

*雨天の場合は、ステージイベントを屋内に移して開催します。

ステージ
芝生広場
16:00~20:00

植村花菜ライブ
動物戦隊
ジュウオウジャー ショー
ダンスパフォーマンス
県立神戸鈴蘭台高校
和太鼓部演奏
ビンゴ大会

フードゾーン&ふれあいショップ
中央緑道 16:00~20:00
約40団体出店!
休憩スペース700席

UD迷路
研修館大会議室
16:00~18:30
*車いす使用の方もご入場いただけます。

わんぱく広場
芝生広場
16:00~18:30
昔あそび・点訳体験
ミニゴルフ体験

【お問合せ】(公財) こうべ市民福祉振興協会 TEL:078-743-8092